

くらき永田保育園便り 12月

さて、今年も残すところ一ヶ月となりました。そして、いよいよ7日（土）は発表会です。

運動会に引き続き「子どもが計画段階から参画し、そして、表現したいものを自分で選ぶ」という「ごっこ遊びの延長」のような発表会となります。大人の目から見ると「うまくいった・いかなかった」「成功、失敗」に見えるかもしれませんが、保育園の遊びにはそんな視点はありません。子どもたちが面白いと思って表現したありのままを楽しんでいただけたらと思います。豊かな表現活動はモノやヒトとの関係性の中で湧き上がってくるものだと感じています。

保護者の皆さんの温かい視線や大きな拍手が子どもたちの主体性を引き出してくれるのではないかと期待しています。

今年もやります「ぼ～燃会」

先月もお知らせしましたが年末の園庭の風物詩にもなってきた「園庭でぼ～っと火を燃やす」「ぼ～燃会」を12月20日（冬至の前日）の夕方16時半～18時半の2時間、園庭で行います。お迎え後の短い時間ですが焚き火をしながら薪がはぜる音を聞き、のんびりとしたひと時を過ごし一年の疲れを癒したいと思います。今年も「おやつ以上、夕食未満」の食材持ち込み大歓迎です。また、焚火台などキャンプ道具を活用したい保護者も大歓迎です。

（注）長時間の語らいを楽しむ方は近隣の駐車場を活用して、送迎に支障がないようご注意ください。

ドイツの視察を終えて

幼児教育の父ともいわれるフレーベルやシュタイナー教育など、今なお世界の幼児教育をけん引しているドイツの視察は実に刺激的でした。同じモノづくりの国として比較されることも多い両国ですが「日本人の3分の2程度労働時間」なのにGDPでは日本を超え、年収は日本人の1.4倍。保育時間の長さや職員の配置基準も違いますが、くらき永田保育園同様にナショナルプログラムとして「こどもの参加・参画を大切にし、民主的な市民として子どもを育てる」ことを一番の目標としていたのが印象的でした。まずは、しっかりと職員に視察報告をして少しでも魅力的な保育が進んでいくようにしたいと思います。

保育園からのお願い

12月29日から1月3日の期間は 保育園は休園となります。ロッカーの中身はお持ち帰りいただき清掃を行います。また、この機会に衣類や保育材料等の点検をお願いします。

年末年始は、小学校等との関係で登園児童が少ないことが予想されます。職員のシフトも適正な人員に配置したいと考えていますので、保育時間予定表に記入できなかったお休みなどが入りましたら随時お知らせください。

各クラスの様子をお伝えします！

にこにこ

にこにこ組では、戸外から帰ってきた後に絵本を読めるスペースがあり、透明なケースに入れて表紙の絵が見えて、自分たちで絵本を選べるような環境を用意しています。初めは、一対一で保育士が「どれがいいかな？」と言いながら絵本を指差すと、興味のある絵本に手を伸ばす姿が増えてきました。最近では、自分からケースに手を伸ばして絵本を取り、「見たい！」という気持ちを伝えてくれます。絵本を見ている時には、保育士が言うフレーズを真似して「じゃーじゃー」「ぶーぶーぶー」と口ずさみながら絵本をじっと見つめて楽しむ姿もあります。お部屋の中にも、絵本のイラストを貼って環境の一部としても取り入れていますよ。例えば、『だるまさんがころんだ』という絵本の「だ、る、ま、さ、ん、が」というフレーズを室内に貼りつけていると保育士がフレーズを言い始めると体を左右に動かして絵本のイラストと同じ動きをする子が増えました。このように、生活の中で絵本に親しむ姿が増えて、私たちもとても嬉しいです。お家でもぜひ、絵本をたくさん読んで親子で楽しんでくださいね。



よちよち

よちよちの子どもは絵本が大好き！テラスや一時保育室、ホールで過ごした後、室内に戻る際に絵本を読む時間があり、保育士が絵本を選んでいると「〇〇がいい！」とリクエストをしてくれるほどです。

また、食べ物の絵本では「食べた〜い」と言って、絵を「ぱくっ！」と食べる仕草、乗り物ではカラダを横に揺らしてまるで乗っているかのようにしています。保育士が読んでいる言葉を真似て一緒に発していたり、子どもたちなりに絵本の世界を楽しんでいます。これからは『がたん ごとん がたん ごとん』や『バスがきました』などの繰り返しの絵本も読み、子どもが絵本の内容と一緒に言葉で話せるようになったらいいなと思っています。ぜひ、ご家庭でも絵本をお子さんと一緒に読んでいただけると嬉しいです。





すくすく

すくすく組のお部屋には絵本コーナーがあります。子どもたちは自分の好きな絵本を手にとると「先生読んで～」と保育士のところに持って来てくれたり、一人でじっくりと絵を見て楽しんでいます。友だちと一緒に一冊の絵本を見て、やり取りを楽しむ姿もあります。『せんたくばさみ なにしてあそぶ?』という絵本を見ながら、「この形作ってみたい!」とKくん。すると、RくんとMくんが別の棚から洗濯ばさみを持って来てくれました。「この丸ってどうやって作るの?」「こうやってやるんじゃない?」などと相談しながら、3人とも真剣な表情で形を作っていました。すくすく組では図鑑も人気です。恐竜や昆虫、魚など様々な種類の図鑑を用意すると、それぞれ興味を持ったものを手に取り、じっくりと中身を見たり、友だちと一緒に話をしながら図鑑を眺める姿もありました。これからも絵本を通して子どもたちの世界がどんどん広がっていくように、絵本に触れる機会を大切にしていきたいと思います。



異年齢

今年度は、4月の全体懇談会にて〈こどものとも社〉の浅原さんから「絵本は心の栄養です。子どもとのやり取りを楽しむツールとしてたくさん使ってください。」というお話を聞いたこともあり、異年齢クラスでも月間本を購入してくれているご家庭が多くあります。そのため、クラスに月間本を出すと、「お家にもあるよ!見たよ!」と嬉しそうに話してくれる姿があります。絵本は読んで楽しむだけでなく、真似して遊んでみることも。9月の月間本の1つ『どうぶつたちのおんがくかい』は、動物たちが自分と同じような音の出せる楽器の作り方を教えてくれるお話。絵本を見ながらの楽器作りがわくわく組で盛り上がり、発表会の演目の一つになりました。また、のびのび組では、絵本をお手本に乗り物や虫を作って楽しむ子がいたり、いきいき組になると、友だちに絵本を読んであげる子もいます。保育者だけでなく異年齢のお友だちと一緒に楽しむ中で、子どもたちは絵本を介して色々な形で心の栄養を摂っています。より良い心の栄養となるように、日々の子どもの姿に合わせてタイミング良く良質な絵本を提供していきたいと思います。お家での子どもと絵本のエピソードも是非聴かせてください。



給食室

11月の献立の中で子どもたちから人気だったスイートポテトのレシピを紹介します！

〈材料〉 型5個分

・さつまいも	250g	・レモン果汁	1g
・砂糖	30g	・みりん	1g
・バター	15g	・バニラエッセンス	1滴
・生クリーム	20g		
・卵黄	2個	(生地用と表面に塗る用それぞれ1個ずつ)	



〈作り方〉

- ① オーブンを180℃に予熱しておく。
さつまいもは皮をむいて1cmの輪切りにする。水に1度さらしたら水気を切る。
耐熱容器に移して柔らかくなるまで電子レンジで加熱する。
- ② マッシャーやフォークでさつまいもを潰したら、砂糖、バター、レモン果汁を加えて混ぜる。
粗熱がとれたら生クリーム、卵黄1個、バニラエッセンスを加えて、さらに混ぜる。
- ③ 焼き用の型に②の生地を入れる。表面に卵黄1個とみりんを合わせたものを塗り、オーブンで15分焼いたら出来上がり。

☆卵を使わなくても美味しいです。

子どもたちがお手伝いできる工程もあるので、おうちでもぜひ作ってみてください！

食育係より



食育係では、献立の中に『物語メニュー』を取り入れています。毎月、給食室と連携しながら一冊の絵本を選び、その物語に出てくるメニューを子ども達が食べる事で、給食の献立に興味を持ち、楽しんでくれるといいなという思いで取り組んでいる活動です。給食を食べる前に絵本を読んだり、小さい子どもたちには絵本のイラストを見ながらイメージを膨らませて食事の時間を楽しんでいます。毎年好評の取り組みですが、今年度から絵本の内容を一部新しくしました。中でも6月の絵本『ぐるんぱのようちえん』のメニュービスケットを楽しんでくれた子どもたちが多かったです。保育士が画用紙でぞうのぐるんぱを作り、おやつビスケットと一緒に出した乳児クラスの子供たちは、そのイラストを手にしたたり、ぐるんぱにビスケットを食べさせる真似などしながらおやつの時間を楽しみました。8月は絵本『キャベツくん』からキャベツおやきがおやつでしたが、絵本を見ることで野菜が苦手なお友だちも食べてみようとする姿が多く見られていました。毎月の献立表に★のついているメニューがあり、そちらが物語メニューとなっていますので、チェックしてみてくださいね。絵本を通して、食べる事に興味関心を持ち、子どもの世界が広がるようにしていきたいと思っています。



今月の行事



- 7日 発表会（すくすく・異年齢）
- 14日 布団乾燥
- 21日 トイ活
- 25日 クリスマス会
- 28日 仕事納め
- 29日 年末年始

来月の予定

- 4日 仕事始め
- 11日 布団乾燥
- 22日 おもちつき
- 25日 トイ活



おしらせ

開園当初から給食室で調理を担当していた、屋富祖さんが12月31日で退職となります。
退職後も保育園に遊びに来てくれますので、お会いした時には声を掛けてくださいね。
22年間ありがとうございました。